

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発行／2015年(平成27年)12月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

平成27年第3回定例会の主な審査状況	②
平成27年第3回定例会の提出議案と議決結果	②
委員会審査から	③
一般質問	④～⑩
平成27年第4回定例会の開催予定	⑩
議会広報番組	⑩
平成26年度決算審査	⑪～⑭
市議会点描	⑮
議会活動、市民の広場	⑯

表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ

鳴門市公設地方卸売市場 開設40周年記念市場まつり

10月31日
鳴門市公設地方卸
売市場で市場まつ
りが開催され、市
議会議員も多数参
加しました



No. 93

第3回定例会の主な審査状況

9月9日(水) 第3回定例会開会 予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、平成27年度補正予算案など議案9件、報告2件が提出されました。
- 補正予算に関する議案6件を予算決算委員会に付託しました。
- 本会議散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案6件の説明を受け、質疑を行いました。

9月15日(火) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

9月16日(水) 一般質問

- 議員4名による個人質問を行いました。

9月17日(木) 一般質問

- 議員2名による個人質問を行いました。
- 市長より追加議案1件が提出されました。
- 議案4件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

9月18日(金) 総務文教委員会 予算決算委員会第1分科会

- 付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。
- 「旧鳥居記念博物館耐震改修工事のうち建築工事(その2)」の工期変更について他1件について説明を受けました。
- 鳴門市スーパー改革プラン2020・第六次鳴門市総合計画実施計画について質疑を行いました。
- 企画総務部、消防本部、教育委員会の補正予算案について審査しました。

9月24日(木) 生活福祉委員会 予算決算委員会第2分科会

- 付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。
- 鳴門市スーパー改革プラン2020・第六次鳴門市総合計画実施計画について質疑を行いました。
- 市民環境部および健康福祉部の補正予算案について審査しました。

9月25日(金) 産業建設委員会 予算決算委員会第3分科会

- 付託された議案2件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- 報告2件について担当課より説明を受けました。
- 鳴門市スーパー改革プラン2020・第六次鳴門市総合計画実施計画について質疑を行いました。
- 経済建設部および企業局の補正予算案について審査しました。

9月30日(水) 予算決算委員会

- 付託された議案6件について各分科会主査の報告を受けた後、採決の結果、補正予算に関する議案6件はいずれも可決すべきと決しました。

10月2日(金) 第3回定例会閉会

- 第3回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受けた後、討論があり、その後、採決を行い、補正予算に関する議案6件、その他の議案4件はいずれも可決と決しました。
- 議会運営委員会より議案1件が提出され可決しました。
- 平成26年度各会計歳入歳出決算の認定に関する議案15件および報告2件が追加提案され、議案については予算決算委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。

《 第3回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会	
議案第62号	平成27年度鳴門市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	予算決算	
議案第63号	平成27年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)			
議案第64号	平成27年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)			
議案第65号	平成27年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)			
議案第66号	平成27年度鳴門市水道事業会計補正予算(第1号)			
議案第67号	平成27年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)			
報告第10号	平成26年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について			報 告
報告第11号	平成26年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について			
議案第68号	鳴門市個人情報保護条例の一部改正について			原案可決
議案第71号	工事請負契約の締結について(鳴門市旧ごみ焼却施設解体工事)	原案可決	生活福祉	
議案第69号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決	産業建設	
議案第70号	鳴門市水道事業給水条例及び鳴門市下水道条例の一部改正について			
報告第8号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について			報 告
報告第9号	専決処分について(損害賠償の額の決定)			
発議第2号	鳴門市議会会議規則の一部改正について			

委員会審査から

総務文教委員会

● 議案第68号 鳴門市個人情報保護条例の一部改正について

〔説明〕 番号法の施行に伴う特定個人情報等の定義の整理を行うとともに、利用目的以外の利用・情報提供の制限、開示・訂正・利用停止の代理人に関する規定、保有特定個人情報の利用停止等の請求に関する規定、情報提供等記録の事案の移送の適用除外に関する規定、他の条例による開示実施との調整に関する規定を設けるものである。

〔質疑〕 マイナンバー制度の市民への周知はどのように行うのか。

〔回答〕 広報紙やテレビ広報のほか、地域の自治振興会等での説明等により周知を行っており、今後は特に高齢者等に対しても周知に努めたい。

生活福祉委員会

● 議案第71号 工事請負契約の締結について(鳴門市旧ごみ焼却施設解体工事)

〔説明〕 旧ごみ焼却施設(撫養町木津)解体工事について、請負契約を締結するにあたり、議会の議決を求めるものである。

〔質疑〕 ダイオキシンの処理についてはどのように行うのか。

〔回答〕 除染工事を平成26年度に実施しているため、今回の工事は一般の解体工事と同様である。また、周辺も含めた土壌の調査については解体撤去が終了した後、地元の皆さんの意見を聞いた上、調査を行う予定である。

〔質疑〕 解体後の跡地利用をどのように考えているのか。

〔回答〕 一部については防災広場として活用する予定であるが、それ以外の部分についてはまだ決定していないので、引き続き検討していく。

産業建設委員会

● 議案第69号 鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

〔説明〕 生活環境保全の観点から問題とされる空家等の認定及び措置に関し調査審議を行うため、新たに附属機関を設置することに伴い、所要の改正を行うものである。

〔質疑〕 審議会を構成する委員として、「関係団体の代表者又はその推薦を受けた者」とあるが、どういう人物を想定しているのか。

〔回答〕 建築士や土地家屋調査士等、建物について専門的な判断をしていただけるような方を委員に選任したい。

● 議案第70号 鳴門市水道事業給水条例及び鳴門市下水道条例の一部改正について

〔説明〕 平成28年度より使用水量の検針を現行の毎月から隔月に変更するため、所要の改正を行うものである。

〔質疑〕 毎月検針から隔月検針に変更することにより、どれだけの検針費用の削減が出来るのか。

〔回答〕 年間約一千万円の削減が見込みである。

〔質疑〕 検針が隔月になることにより、漏水に気付くのが遅くなった場合、水道料金の減免措置については、どうする対応するのか。

〔回答〕 現在、地下漏水については、1ヶ月間の減免措置があるが、この度の条例改正に合わせて、減免期間を2ヶ月間に延長したいと考えている。



この議案が可決されたことにより、平成28年度より使用水量の検針を現行の毎月から隔月に変更されますが、使用料については、2ヶ月分の平均額が毎月請求されるようになります。

予算決算委員会

● 議案第62号 平成27年度鳴門市一般会計補正予算(第2号)

〔質疑〕 鳴門東小学校体育館改築事業について補正予算が計上された理由は。

〔回答〕 ボーリング調査を本年3月に実施したところ、当初見込んでいた摩擦杭による基礎では強度不足であることが判明したため。

〔質疑〕 第3子以降保育料無料化事業についてどのようにして申請を行うのか。

〔回答〕 現在、入所されている保護者の方に説明を行い、申請書については、現在、該当者または申し出のあった方に渡すのかを検討している。

〔質疑〕 島田渡船のオーバーホールの期間とその間の運航についての対応は。

〔回答〕 1隻での運航のため1日か2日運休して行う予定である。

一般質問

代表質問

●東谷 伸治 (会派 郷土)

1. 市長の政治姿勢について

(1) まちづくりエリアの進捗状況について

2. 市街地周辺における環境整備について

(1) 空き家・空き地の適正管理について

3. 教育行政について

(1) 新教育委員会制度について
(2) 授業時数の確保について

●川田 達司 (会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

(1) 鳴門市版総合戦略について
(2) 新たな雇用創出について
(3) 目指す人口構成について

2. 公職選挙法改正について

(1) 啓発活動について
(2) 主権者教育について

●山根 巖 (会派 有志会)

1. 市長の政治姿勢について

(1) 本市の教育施策について
(2) 観光行政について

2. 教育行政について

(1) 新教育長の教育理念と本市の現状について

●圃山 俊作 (会派 志)

1. 市長の政治姿勢について

(1) 第六次鳴門市総合計画について



●松浦 富子 (会派 公明党鳴門市議団)

1. 市長の政治姿勢について

(1) 地方創生について

2. 福祉行政について

(1) 聴覚障がい者対策について



傍聴にお越しく下さい

- ・本会議…議場
(受付：東側階段より3階傍聴席入口)
- ・委員会…委員会室
(受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡ししますので、受付にてお名前、ご住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

代表質問



会派 郷土
ひがしだに しんじ
東谷 伸治

◆市長の政治姿勢について

問 新ポートレース場の敷地西側約7600平方メートルのスペースを活用したまちづくりエリアの現況について。

答 現下の経済状況、本市の市場規模から考えると、多くを望むことはできないと思いますが、できれば温浴施設を核とした複合施設で、市民の健康増進はもちろん、ポートレース事業との相乗効果が見込める施設となることを期待しており、11月中旬には事業者の選考結果を公表したいと考えています。



着々と建設が進む新ポートレース場

◆市街地周辺における環境整備について

問 空き家対策として、補助金を受

け解体しても、2000平方メートル以内の住居の場合、その後6倍近く固定資産税が上がるため、減免措置を検討しないのか。また、空き地の適正な管理のための、条例制定の必要性は。

答 本市の空き家については統計上3360戸あり、9月補正予算に具体的な調査経費を計上しており、著しく問題のある特定空き家等の認定について、県下で先駆け、鳴門市特定空家等対策審議会を設置するとともに、固定資産税の減免措置や空き地条例については、今後検討していきます。

◆教育行政について

問 中学校において、2学期制の導入や昨年より実施された夏休みの短縮をすることで、授業時数の確保を目指している一方、通常の授業よりも5分短い短縮授業も行われているようであるが、その見解は。

答 2学期制では年間20時間程度の授業時数を確保し、夏休みを短縮した5日間で、各中学校とも26時間の授業を実施しました。また、短縮授業については例外的なものであり、把握していません。

代表質問



創心クラブ
会派 川田 達司
かわた たつし

◆鳴門市版総合戦略への取り組みについて

問「地方創生」鳴門市版総合戦略作成への優先課題と今後5年間で目指す雇用目標について。

答平成32年の人口を5万7500人とする鳴門市人口ビジョンに基づいた総合戦略の5つのプロジェクトの中で、なるとジョブプロジェクトが最も重要と考えおり、提案をいただいた鳴門市が最も強みを持つ農水産業の活性化など、農の雇用事業施策に取り組み、新たな雇用創出につながる環境づくりを地元商工団体やJAと協力をしながら地場産業の活性化や民間活力を取り入れた、働く環境をつくる施策を優先課題として取り組めます。

また、総合戦略計画期間内で400名の雇用創出を目指した、サテライトオフィス推進事業、新たなビジネス開発などの施策で雇用目標を確保していきます。

◆公職選挙法改正への対応について

問公職選挙法の改正により18歳以上の新有権者への主権者教育と主権者前の学校教育についてどの様に取り組むのか。

答本年6月に公布された改正公職選挙法では主権者教育が位置づけられるとともに、鳴門市でも新たに18歳から20歳までの1100人が有権者に加わることとなります。また、国より高校生向け副教材が配布されることにあわせ、市としては広報などや鳴門市公式ウェブサイトで広報するとともに市内の高等学校を対象に選挙の意義や投票方法の説明、さらには模擬授業を実施するなど若年者への投票率向上を推進するなどの主権者教育と同時に現行の期日前投票所の増設についても有権者の利便性や投票率向上のための施策として選挙管理委員会の中で検討していきます。



18歳から選挙権が付与される

代表質問



有志会
会派 山根 巖
やまね いわお

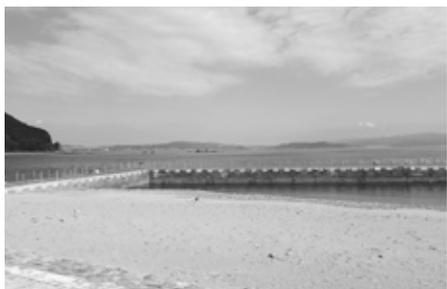
◆市長の政治姿勢について

問市長就任以来、教育行政についてどのような思いを持って取り組んできたのか。

また、観光行政のうち本市の美しい海を活用した公設の海水浴場を開設してはどうか。

答誰もが生きがいとゆとりを感じながら健康に暮らせ、安心して子どもを産み育てることができるよう顔と歓声が聞こえる鳴門市の実現を目指して取り組んできました。

特に子どもは、地域の宝であり、本市の将来を担う子ども達も子ども達も伸び伸びと健やかに育つ



鳴門の美しい海岸（岡崎海岸）

ことができる教育環境の整備が必要であると考えています。

公設の海水浴場の開設については、鳴門の美しい海が観光誘客を図る上で大きな資源であり魅力となっていることは十分認識しており、今後ニーズの高まりがあれば調査検討していきます。

◆教育行政について

問新教育長の就任に当たつての教育理念や教育方針は。

答鳴門市教育振興計画に基づき、教育環境の変化に対応した心豊かで生きがいのある生涯学習社会の構築を目指し教育改革に取り組んでいます。教育長として本市の教育が培ってきたそのよさを引き継ぎながら、豊かな人間性を備えた人づくりを推進し、優しい気持ちを持つて社会のため働こうとする心、たくましく生きていこうとする心、そして生涯にわたって学び続けようとする心、これらを育てる教育を進めたいと考えています。

今後とも本市の教育が抱える課題について教育委員会と学校が一丸となって取り組んでいきます。

代表質問



会派 志
はたけやましゅんさく
圃山 俊作

◆市長の政治姿勢について

問第六次鳴門市総合計画の進行管理は。

答第六次鳴門市総合計画の実績の状況等については、「結びあう絆が創る笑顔と魅力うずまく鳴門」の実現を目指し、主たる分野ごとに4つの基本目標「うきうき活力と魅力あふれるまちづくり」「ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり」「しっかりと安心・快適 住み良い まちづくり」「おおきく躍動みんなで創るまちづくり」を設定し、さらに分野別政策10本と55の施策を掲げています。その具体的な事業については、毎年度当初に「実施計画」を策定し、PDCAサイクルを用い、全庁をあげて成果指標の進行管理をする中で、着実な実行に努めています。

問全国各地で「道の駅」の活用が盛んに行われているが、今後「道の

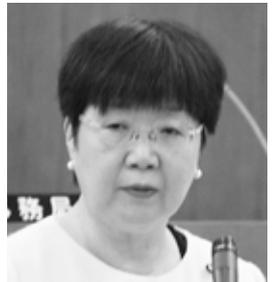
駅」を国道などの幹線道路沿いに設置する調査を行わないのか。

答今年度からは、国において道の駅を地域活性化の拠点とすべく関係機関が連携した事業を支援する取り組みが始まっています。しかし、今後の新たな設置は要件が厳しくなっており、特に国が原則的に物販施設等以外の事業費を負担する国道沿線について、現在のタイミングが最後のチャンスとなる可能性があり、新たな道の駅の設置には国土交通省や県の協力、地権者や関係機関との調整、用地取得等の費用などを総合的に勘案し検討していきます。



市内唯一の道の駅「第九の里」

代表質問



会派 公明党鳴門市議団
まつうらとみこ
松浦 富子

◆地方創生について

問地方創生には人や資源を生かすコミュニティレベルの計画を作り、現場からのポトムアップで内発的な地域づくりが不可欠で、地域の人々が未来に希望をもてる現場目線の改革の展開が最重要と考えるか。

答これからの本市を担う若い世代をはじめ幅広い市民の方々のアイデアや御意見を取り入れた計画とするため5月30日には若手市民の参加による鳴門の地方創生を考えるワークショップ、6月11日には第1回鳴門市総合戦略懇話会、7月31日には議員ワークショップ、8月21日には子育て中のお母さんのワークショップを開催するなど、作成段階から多くの御意見や御提言をいただきました。今後も産官学労金言の各団体が参加する総合戦略評価委員会での評価を受け、

作成・進捗・結果の各段階にお

いて市民の皆様からの御意見が伺える環境づくりを行うことで市民目線の政策展開を行いたいと考えています。



7.31 議員ワークショップ

◆福祉行政について

問生まれながらに聴覚に障害のある子ども達や補聴器を使用しても効果がほとんど認められない高度難聴の方の聴力を取り戻す唯一の手段である人工内耳装用者のスピーチプロセッサの買いかえ助成についての考えは。

答地域生活支援事業である日常生活用具給付等制度に関してニーズや用具の普及状況等を踏まえ、従来給付対象となっていない用具についても随時、給付対象用具に加える等見直しに努めており、人工内耳装用者のスピーチプロセッサの買いかえ助成について具体的な給付要件等も含め検討を進めたいと考えています。

個人質問

●叶井 克典

1. 教育行政について

- (1) 教育環境について
- (2) 楽しい学校生活を送るためのQ-Uアンケートについて

2. 健康福祉行政について

- (1) おとなの健康づくりについて



●野田 粹之

1. 子ども・子育て支援について

- (1) 子どもの居場所づくりについて



●秋岡 芳郎

1. 防災・減災行政について

- (1) 鳴門市土砂災害・洪水ハザードマップについて
- (2) デジタル防災行政無線について
- (3) 率先避難企業・災害協力協定について

2. 子ども・子育て政策について

- (1) 子ども・子育て支援事業について
- (2) 子どもの居場所づくりについて

●上田 公司

1. 市民サービスについて

- (1) 地域の在り方について

2. 子育て支援について

- (1) 子どもはぐくみ医療費助成制度について

3. 鳴門市女性子ども支援センターについて

- (1) 母子生活支援施設について

●三津 良裕

1. 教育行政について

- (1) 学校週5日制について
- (2) 2学期制について
- (3) 学校運営について



●浜 盛幸

1. まちづくり行政について

- (1) 空き家対策について

2. 教育行政について

- (1) がんに関する教育について



球ネットの外構工事の時に防球ネット



国道への球の飛び出しは危険

【問】鳴門市第一中学校運動場南側防球ネットからボールが飛び出し危険なため改善をする必要があるのでは。

【答】保護者の利便性や教育現場での事務負担の軽減、収納率の状況などを総合的に勘案し、口座振替も含めた保育料の収納方法について検討していきます。

【問】幼稚園の臨時教職員が応募しやすい環境づくりが必要であり、その一つとして保育料を口座振替にできないか。

◆教育行政について

個人質問



かない かつのり
叶井 克典

【問】市の子宮頸がん検診内容及び検診率向上策は。

【答】検診の内容は、問診や内診のほか、細胞を採取する細胞診と、30歳、35歳、40歳の希望する方に、ウイルス感染を検査する「HPV（ヒトパピローマウイルス）―DNA検査」を併用しています。検診の受診率の向上のために、各種健診や教室などの様々な機会を活用し、女性はもとより、男性やパートナーに対しても、積極的に周知・啓発に取り組んでいきます。

【問】市の子宮頸がん検診内容及び検診率向上策は。

【答】Q-Uアンケートは、昨年度からの取り組みであり、結果を有効に活用できるような活用方法の研修や具体的な事例の研究を行うとともに、実施する対象や回数について検討していきます。

【問】学校生活での生徒の意欲や満足感を測定するQ-Uアンケートを、いじめ・不登校防止策として全学年、年2回実施してはどうか。

【答】Q-Uアンケートは、昨年度からの取り組みであり、結果を有効に活用できるような活用方法の研修や具体的な事例の研究を行うとともに、実施する対象や回数について検討していきます。

【問】学校の意欲や満足感を測定するQ-Uアンケートを、いじめ・不登校防止策として全学年、年2回実施してはどうか。

個人質問



野田 大木 之 稔

◆子ども・子育て支援・子どもの居場所づくりについて

問 認定こども園への取り組みについて、幼稚園のあり方や、放課後児童クラブのあり方について、どのように取り組んでいるのか、また取り組もうとしているのか。

答 私立保育園が、幼稚園的な機能を備える保育所型として平成27年4月1日から「認定こども園すくすく」として1カ所開設しており、施設整備に対する補助や支援を行ってきました。今後は開設した認定こども園に対する指導、監督及び支援を行う一方で新たに移行を希望する私立保育所・園等の把握を行い、地域の実情や保護者のニーズを勘案しながら、よりよい保育環境を提供するため、教育委員会との情報共有、連携、協力の推進にとめます。

放課後児童クラブのあり方については、保護者の方々と各児童クラブ



本年度からスタートした認定こども園

運営委員会からのご意見等をいただきながら、児童の安全面を最優先に考慮し、教育委員会及び各小学校との協力、連携強化を図り、共働き家庭等の子育て支援と児童の健全育成に取り組んでいきます。

幼稚園のあり方については、今年度中に、第2期鳴門市教育振興計画の策定を予定しており、小・中学校保護者アンケートでは就学前教育全体として何らかの方策をもって再編を進めた方がよい、と回答した方が54%超という結果でした。今年度中に策定予定の第2期鳴門市教育振興計画の策定の中で、保護者や地域の方々など幅広いご意見をいただき、関係部署との連携を密にしながら検討していきます。

個人質問



秋岡 芳郎

◆防災・減災行政について

問 土砂災害・洪水ハザードマップの内容は。

答 カラーユニバーサルデザインに配慮し、災害種別ごとの啓発情報や避難場所を掲載しており、避難行動に生かしていただければと考えています。

問 市内に設置されたデジタル防災行政無線の機能及びJ-ALERT Tとの関連機能、今後の利活用の方法について。

答 デジタル防災行政無線は、防災に関する緊急情報のほか、ミサイル等の脅威に対するJ-ALERTの情報から避難準備、勧告、避難指示等を放送します。また行政情報として、選挙案内や行方不明者の捜索案内等必要に応じた放送をします。聞こえにくい場所や障がいを持たれた方には、ファクシミリ、放送を行ったことのお知らせするメール配信、

放送内容を専用回線で確認できるサービス



デジタル防災行政無線

◆子ども・子育て施策について

問 人口減対策として戦略プロジェクトでの子育て対策の新たな取り組みは。

答 鳴門市における出会いを創出することから、子育て支援事業の施策を展開し、まず第3子以降保育料無料化や母子保健と子育て支援を一体的に推進する子育て世代包括支援センター（鳴門市版ネウボラ）を開設しました。また、新たに保育所や認定こども園の保育環境改善のために、「なるつと補助金」を創設しました。

問 中学生・高校生を含め、子どもが集まり自主的に活動できる総合的、中心的施設を検討する意向は。

答 子どもの居場所づくりを検討する中で、放課後児童クラブ等の状況を見据え、先進地自治体等の情報収集や研究を行っていききたいと考えています。

個人質問



上田 こうじ

◆市民サービスについて

問 連絡所での証明書の交付事務等の代替措置として郵便局への委託を検討しているようだが、各種証明書の発行だけでなく買い物難民や医療・介護の問題など、包括的な今後を考えた将来設計が求められると思うが。

答 生活弱者に対する行政サービスについては、医療や介護など様々な面で包括的に取り組む必要があることから、今後これらを基本として連絡所のあり方の検討を進め、行政サービスの水準の維持向上に努めていきたいと考えています。



市民生活に必要な連絡所

◆子育て支援について

問 現在、県内で医療費無料化が小学校卒業までで、第3子以降の

保育料無料化を実施していないのは、鳴門市のほか2つの自治体だけであり、大きく遅れている子育て施策が市外流出を促すことになってきていることから、早期に市独自で医療費無料化拡充に取り組むべきと考えるが。

答 今後、制度拡充について県に働きかけ、国へも全国市長会を通じて事業継続や制度の拡充を積極的に要望していきたいと考えています。また本市の財政状況や他事業との関連性を考慮しながら、子育て支援に関する事業を継続して推進していきます。

◆鳴門市女性子ども支援センターについて

問 支援センター設置に伴い相談件数も増え、施設に対する期待も高まっていることから、市の支援体制強化を図るために今後、民間住宅の活用などを具体化してはどうか。

答 母子生活の基盤づくりができる施設については、既存施設の活用にとどまらず、民間住宅等の活用も必要であると認識していることから、早期に調査研究等を行っていききたいと考えています。

個人質問



みづ ひろし

◆教育行政について

問 学校だけに任せるのではなく家庭や地域でも子ども達を育てていくことの趣旨で、学校週5日制は平成4年9月から始まったが土曜日授業を再開した自治体もある。鳴門市はどのような方針か。

答 国ではゆとり教育を見直し、各学校設置者が必要と認める場合は土曜日等に授業を実施することが可能となりました。鳴門市のアンケート調査では半数以上の保護者が土曜日授業実施に賛成の意見であり、効果や課題について検討していきたいと考えています。

問 授業時数の確保、特色ある学校づくりの観点から平成17年度から2学期制を導入したが、3学期制に戻しては。

答 定着している2学期制のよさを生かした魅力ある学校づくりを進めたいと考えています。

問 いじめ防止基本方針では徹底的な対策を講ずるとしている。いじめは、いじめられていることを誰にも相談できず、長期化、深刻化すれば、絶望感や無力感からみずから生命を絶つこともある子どもたちの命に関わる極めて深刻な問題である。いじめ、不登校の現状と対応は。

答 鳴門市のいじめ件数は平成26年度では、小学校で40件、中学校で28件でした。いじめは人間として絶対に許されない行為であり、加害児童・生徒に対して毅然とした態度で組織的に指導を行っています。また、インターネットでの誹謗中傷などの問題が顕在化しつつあり、スマートフォン等の使い方のパンフレットを全小・中学生、保護者に配布しました。また、不登校の生徒については、8月末の調査で、小学生4名、中学生10名でした。うず潮教室には5名の生徒が入級し、社会的自立や学校復帰に向けた支援をしています。学校においては、個人面談や家庭訪問、補充学習の実施や学校内の保健室や相談室を居場所として活用しています。



スマートフォンでの誹謗中傷はだめ

個人質問



はま せいこう
浜 盛幸

◆空き家対策について

問 崩壊の恐れや衛生上問題のある空き家について市町村が所有者に撤去を命令できる空き家対策特別措置法が本年5月全面施行され、市町村は国の基本指針に即した空き家対策計画の策定と協議会の設置が推奨されているが、本市の具体的な今後の取り組みは。

答 空き家対策計画に先立ち市内の空き家等の状況を把握するための実態調査を行い、これにより市内の空き家等の状態を概ね把握し、空き家等の情報をデータベースとし、整備する予定であり今後活用も含めた空き家等対策の検討に活用したいと考えています。また調査と並行し、本年度中に空家等対策計画素案を策



空き家対策は急務

定し、可能な箇所から検討着手してまいります。

◆がんに関する教育について

問 現在日本人の死因一位はがんであるが、検診受診率は先進国中最も低い状態であり原因はがんに対する知識の欠如といわれている。求められるのは、義務教育機関のがん教育であり、本市のその認識と子供たちへの教育の取り組み、担当する教師の専門教育は。

答 がんについて正しく学び、子供たちが健康に関心を持ち、適切な態度や行動をとることができるようになることが、大切であると認識しています。

健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で、科学的根拠に基づく内容は中学校で取り扱い、保健体育科を中心にしつつも教育環境全体を通じて取り組みます。がん経験者などの外部講師の参加協力を推進し、各教科担任が実施する授業と専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事など関連させて、職員の専門的な研修も含めたがん教育の推進に努めていきたいと考えています。

平成27年第4回定例会の開催予定

平成27年第4回定例会は、11月30日から12月24日までの25日間の予定です。

11月30日(月)	第4回定例会 開会
	予算決算委員会(議案説明)
12月1日(火)	一般質問通告締切
7日(月)	一般質問(会派代表質問)
8日(火)	一般質問(個人質問)
	議会運営委員会
9日(水)	一般質問(個人質問)
	予算決算委員会(質疑・採決)
10日(木)	総務文教委員会
11日(金)	生活福祉委員会
14日(月)	産業建設委員会
17日(木)	議会運営委員会・全員協議会
18日(金)	本会議(議案採決)
24日(木)	第4回定例会 閉会

: インターネットで中継・録画配信
: ケーブルテレビで中継・録画放送

■ 議会広報番組 ■

<放送内容>

- ①平成27年第3回定例会
 - ・定例会の審査概要
 - ・一般質問
 - ・各常任委員会・分科会の審査概要
 - ・採決結果
- ②平成26年度決算審査
 - ・平成26年度決算の概要
 - ・予算決算委員会各分科会の審査概要
- ③市議会からのお知らせ

<放送日>

12月1日(火)～12月15日(火) 〈期間中毎日〉

<放送時間>

デジタル111ch
(8:00～/13:00～/23:00～)
デジタル122ch
(7:00～/12:00～/16:00～/
18:00～/21:00～/22:00～)



[生放送・特別番組により放送されない場合があります]

■ 平成26年度の決算を審査・調査しました ■

5日間にわたり、予算決算委員会および分科会を開催し、平成26年度決算に関する15議案について審査・調査しました。

※委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋しました。

教育・文化

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【教 育】

■新学校給食センター建設予定の旧農業センター跡地の地歴及び土壌調査業務についてその内容は。

●当該調査業務は新しく大きな建築物を建てるにあたり、その土地が今までどういうものに使われてきたのか、また土壌の中に有害な物質が存在していないかを調べるために専門機関に委託したものである。

★追加で予算が必要となるような問題が発生しないように、しっかりと調査業務を実施してほしい。

* * *

■預かり保育事業の受入状況は。

●1ヶ月平均で436人の利用となっている。土曜日については、12園のうち5園のみの実施となっており、実施園のない通学区においては近隣の実施園に預けることができる体制を整えている。



★子育て支援をさらに充実させることで、子育てしやすい環境を整えてほしい。

* * *

■各種学級開設事業や放課後子ども教室推進事業等における参加人数及び利用人数の減少に伴う事業の見直しについては。

●社会教育事業について新たな取り組み、統合などによる集約を検討していきたい。



【文 化】

●「なると第九」について、効果的な情報発信が出来ていなかったため、パンフレットを作成し、平成26年度は、県外では京都市内の量販店、市内では、渦フェスタ、鳴門のまつり、徳島ヴォルティスの試合等において「なると第九」の魅力をもPRした。

まちづくり

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【土 木】

■渡船運航管理費について、費用対効果の面から、島田渡船では、現実的には何人くらいの利用者がいるのか。

●利用状況については、年間で3千290回、4千902人の利用があり、現状としては、1日で学生が2、3人利用されているほか、高齢の方が買い物に利用されているのが主である。

また、代替えの交通手段として、バスやタクシーを考へてはみたが、地元から渡船を残してほしいとの要望があり、船自体を小さいものにできないかと検討しているところであり、経費削減に取り組んでいきたいと考えている。



★島田渡船に関して、多額の予算付けをして運航していることから、観光面、教育面も含めて、いろいろな方に利用を促進していく必要があるのではないか。

【下 水 道】

●合併処理浄化槽の設置済み人口については、1万9千176人であり、世帯数については、現時点での試算としては、8千300世帯である。

★下水道の対象地区については、下水道に接続し、それ以外の地区については、合併処理浄化槽を設置していくように、自治振興会の会合等で、啓発することも効果が期待できることから、これからも地道に普及促進に努めてほしい。

社会福祉

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【福祉・健康】

■臨時福祉給付金給付事業補助金について、受給の申請漏れがないか。

●平成26年度については、金額としては、1人1万円で、1万1千470人が受給しており、年金受給者で5千円加算される方が6千774人いることから合計で1億4千857万円となっており、国の推計に基づく支給対象者見込み数の94.4%となるため、申請漏れはないものと考えている。

★消費増税に関連し、給付されているものであり、受給すべき人が、今後も、申請漏れのないよう対応すべき。

* * *

■がん検診事業について受診後のがんの疑いがある方の人数を把握しているのか、またその人数について広報しているのか。

●がん検診の結果、精密検査を受けるよう結果が出た方には、病院での受診を勧めている。また、広報については年度により、ばらつきがあるため最近はしていないが、今後、情報提供を検討していきたい。



* * *

■自殺予防対策費のうち自殺予防ボランティア養成研修補助金が執行されなかった理由は。

●徳島県自殺予防協会で開催されるボランティア相談員養成講座を全41回受講し終了した方に交付される補助金であり、毎年4件から5件の問い合わせがあるが、交付実績がない状況であり、現在は広報紙等で周知しているが、今後、周知方法について検討し応募していただけるよう取り組んでいきたい。



★周知することにより、悩んでいる方に相談できるボランティアの方がいることをお知らせすることにもつながるので、所管課だけで周知・広報するのではなく、他課とも連携し、PRに取り組んでほしい。

【介護・保健】

■高齢者住宅改造費助成事業費について執行がない理由は。

●この事業は県単独事業で工事費90万円を上限として、県、市、本人がそれぞれ3分の1を負担する制度であるが、介護保険事業において上限が20万円と低い



が、介護サービスの自己負担が1割の方については、1割負担で、住宅改修の助成をうけることができる制度があることから、平成24年度、平成25年度には各1件の利用があったのみであり、その内容も介護保険事業の助成制度を使用して足りなかった分を申請するものであった。

★利用者が少ない現状を、市から県へ伝える必要があるのではないか、また、介護保険事業における住宅改修の助成についても償還払いを改善しなくては、生活が苦しい人にとって、利用しにくい。

* * *

■特定健診受診後の状況を把握しているのか。

●受診結果については、各市町村に報告され、特定健診の結果、一定以上の数値となった方については、特定保健指導を受けるための利用券を送付することになっており、平成25年度の特定保健指導の利用率は50.2%であり県内でも高い部類である。

* * *

■被保険者資格証明書と短期被保険者証の件数は。

●平成26年度末現在、被保険者資格証明書は341世帯、短期被保険者証のうち6ヶ月証分は87世帯、3ヶ月証分は326世帯である。



★保険料を払いたくても払えない方も多く、収納率を上げることと、市民の安全・安心を守ることのバランスも考えて取り組んでほしい。

暮らしを守る

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【防災・災害】

■避難困難地域対策事業について、620万円の支出額の内容及び事業の計画期間は。

●里浦町南部地区における複合施設新築工事設計業務及び複合施設新築工事に伴う地質調査業務について、業務委託を行うにあたり、前金として支出したものであり、それぞれの業務は平成27年度に終了する。

★里浦町南部地区については南海トラフを震源とする大地震の影響を受けやすい地域であるので、設計業務を終えて、早い段階での整備を行ってほしい。



●消防団詰所については、平成26年度は川東分団、堂浦分団、板東分団において耐震診断を行い、堂浦分団については耐震性を有するため、それ以外について耐震化を行うこととした。川東分団については現在改築設計に着手しており、板東分団については配置場所や大麻分署との兼ね合いを考慮しながら、今後改修又は改築するのかを検討している。

★昨今の施設設備や消防車両の高機能化、大型化により機能が多様化する中で、現在の消防団詰所で十分に機能が発揮できるのか憂慮しており、このことをふまえて詰所の整備にかかるべきではないか。

●消防団詰所の再配置等について検討を行うとともに、今後は、車両については年次計画に基づいて、定期的に機能向上していきたい。



【消 防】

■消防団詰所の耐震診断の結果と今後の耐震化の予定は。

生活・衛生

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【生活・衛生】

■前年度製造分指定ゴミ袋納入業務、指定ゴミ袋製造及び納入業務委託料の平成25年度決算額が約2千600万円であるのに対して、平成26年度決算額が約4千100万円に増加している理由は。

●原材料の高騰、円安等の影響により金額が膨らんだためである。

★原材料の高騰だけで、約1千500万円も増加するのか疑問であり、ゴミ袋の単価も最初から高いと思われることから、値段について業者と交渉してほしい。



* * *

■地方消費者行政活性化事業補助金179万5千円の用途は。

●消費生活相談員の報酬、消費生活相談員の研修参加費等に活用している。

★マイナンバー制度が始まり、それに関して様々な問

題や相談が発生することが予想され、今後2人の相談員だけでは対応が困難な状況になると思われるので、相談員の方にはしっかり研修に参加していただくとともに、県にも、補助金の充実等を要望していかねばならないのではないか。

* * *

●女性子ども支援事業についての決算額689万6千297円の主な内訳として、女性相談員2名、子ども支援員1名の賃金や、DV被害者を緊急的に一時保護



したり女性のためのカウンセリングを受けるための委託料である。

★相談件数が増加傾向にある重要な事業であり、少ない人員で対応することは大変と思われるので、人員増を要望してみてもどうか。

産業・観光

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【商 工】

■大谷焼普及拡大支援事業補助金について、どのような意味での助成であるのか。

●大谷焼は、県下唯一の焼き物の伝統工芸であり、市としては保護という意味で、また商工業者としては、さらに発展してほ



しいとの意味で設計した制度であり、鳴門市内外の飲食店が、食器の買い替えなどで大谷焼の食器を購入した場合、その費用のうち、10万円を上限として、市が購入費の半額を助成する制度である。

★補助金を利用して大谷焼を購入した業者が、実際に現場で大谷焼を十分にPR出来ているかどうかが疑問なので、今後の課題としてほしい。

【観 光】

●観光ボランティアガイドの新人育成については市が

ら鳴門市うずしお観光協会に委託しており、平成26年度は5名が新たに登録し、現在30名の方に活動していただいている。

■鳴門市でのガイドへの需要はどの程度あるのか。

●現在の人数では足りないと考えている。

★有料化も含め、観光ボランティアガイドの在り方について考えてみる必要があるのでは。また、早くガイドを養成できるように取り組んでほしい。

【農林水産】

■農漁業6次産業化推進事業の平成26年度の実績は。

●わかめや鳴門金時の販路拡大を目的に、京都のショッピングモールで農業協同組合、漁業協同組合、鳴門商工会議所、大麻町商工会、鳴門市うずしお観光協会に協力いただき、販売を行った。

★販路を拡大することは重要なので市でもより情報収集を行ってほしい。

その他

■：質疑
●：市の担当者からの答え・説明
★：委員からの意見・要望

【税】

■法人市民税については収入済額が予算現額より1億8千万円あまり増収となっているが、固定資産税やたばこ税の収入済額が前年度より減少していることの原因は。

●法人市民税については景気回復に伴う業務拡大により増収となったこと、固定資産税については地価の下落に伴い土地の評価額が減少したこと、たばこ税については平成26年4月からの消費税率の引き上げ前に駆け込み需要が生じ、その後にその反動で売上げ減となったこと、これを機会に禁煙に取り組む人が増えたこと等がそれぞれに大きく影響したと思われる。

【企 業】

■当初、モーターボート競走事業について平成26年度は赤字と見込まれていたと思うが、当年度純利益が2億2千892万1千343円となった要因は。

●当初は代替開催の収益が2億5千万円程度の黒字と見込んでいたが、全国的にも2年間休催したのは初めてであったため、全国のボートレース関係者の協力もあり、4億円を超える黒字となったこと、資産減耗費が予想していたより抑えられたことが要因と考えている。

★当初の想定との差が大きくなることが予想されるため、10年間の長期計画については3年から5年で見直していく必要があるのでは。

予算決算委員会での採決結果

議案第72号「平成26年度鳴門市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議案第86号「平成26年度鳴門市モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金及び資本剰余金の処分について」までの15議案についてはいずれも認定・原案のとおり可決すべきと委員会では決しました。

市議会 点描



議員特別表彰

《第91回全国市議会議長会定期総会》



去る、6月17日、第91回全国市議会議長会定期総会が東京都において開催され、20年以上在職議員として次の2名が特別表彰を受賞されました。



はしもと くにかつ
橋本 国勝 議員



の だ きよゆき
野田 粹之 議員

平成27年度 各常任委員会管内視察

産業建設委員会

〔6月10日〕



●平草配水池建設現場

●ポートレース鳴門
新スタンド建設現場



生活福祉委員会

〔11月6日〕



●認定こども園すくすく

●鳴門市クリーンセンター



総務文教委員会

〔11月13日〕



●鳴門西小学校(電子黒板)

●鳴門西小学校(電子黒板)



市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。
本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールでお寄せください。

募 集 中



- ① 議会だより紙面について(感想、ご要望など)
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものをお願いします。

- ※ 内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。(紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。)
- ※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 投稿していただいたものは返却できません。
- ※ 写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

✿宛 先✿ 鳴門市議会事務局
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎ (088) 684-1234 / 📠 (088) 684-0814
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



編集を終えて

今年も残りわずかとなりました。
平成27年を振り返ってみますと1月の徳島駅伝における鳴門市選手団の4連覇から始まり、8月には鳴門高校の4回連続となる夏の甲子園出場や伊藤選手がリオデジャネイロオリンピックの女子マラソン代表に内定するなど喜ばしい出来事が多くありました。
また、新たな動きとして鳴門市総合戦略が策定され、この戦略を基に地方創生を推進していくことになります。
そして、12月から市議会のウェブサイトがリニューアルされております。スマートフォンでも見やすいつくりとなっていますので、是非ご覧ください。
さて、平成28年は鳴門市にとって節目の年になると思われます。まず、平成28年4月にはボートレース鳴門新スタンドが完成します。それに伴い、温浴施設を核とするまちづくりエリアの整備が始まります。四国の玄関口のシンボリックな施設となり、地域活性化の一翼を担えればと思います。
最後になりましたが、来年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

《議会広報委員会》

委員長：東 正昇 副委員長：松浦 富子
委員：上田 公司・大石美智子・叶井 克典
野田 粹之・圃山 俊作・山根 巖

議会活動(平成27年9月～11月)

9月

- 1日 市総合防災訓練
- 2日 議会運営委員会
- 9日 第3回定例会開会
予算決算委員会
全員協議会
- 10日 一般質問通告締切
- 15日 一般質問(～17日)
- 18日 総務文教委員会
予算決算委員会第1分科会
- 21日 市敬老の日のつどい
- 24日 生活福祉委員会
予算決算委員会第2分科会
- 25日 産業建設委員会
予算決算委員会第3分科会
- 29日 G I 大渦大賞IN宮島(広島)
- 30日 四国新幹線導入促進期成会
設立総会(徳島市)

10月

- 1日 議会運営委員会
全員協議会
徳島県市議会議長会定期総会(三好市)
- 2日 第3回定例会閉会
予算決算委員会
全員協議会
赤い羽根共同募金・街頭募金運動
- 3日 撫養海岸フラップゲート起動確認見学会
- 5日 全国競艇主催地議会協議会正副会長会議
監査会並びに正副会長事務局長会議
(東京/～6日)
- 7日 予算決算委員会第1分科会
市婦人連合会大運動会
- 8日 予算決算委員会第2分科会
- 9日 予算決算委員会第3分科会
- 16日 市うずしお運動会
- 18日 市障がい者スポーツ・レクリエーション大会
鳴門のまつり
子どものまちフェスティバル
- 21日 予算決算委員会
- 22日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会臨時総会(山口)
- 26日 議会広報委員会
- 27日 大和市議会(神奈川)行政視察来庁
- 28日 地方行政・金融講演会(徳島市)
- 29日 常滑市議会(愛知)行政視察来庁
- 30日 全国広域連携市議会協議会理事会
- 31日 市公設地方卸売市場開設40周年記念式典
主要地方道鳴門公園線電線共同溝事業起工式

11月

- 4日 習志野市議会(千葉)行政視察来庁
- 5日 知立市議会(愛知)行政視察来庁
- 6日 生活福祉委員会管内視察
- 10日 伊東市議会(静岡)行政視察来庁
- 11日 議会広報委員会
宇治市議会(京都)行政視察来庁
- 12日 全国競艇主催地議会協議会正副会長会議
役員会・臨時総会(東京/～13日)
- 13日 総務文教委員会管内視察
- 15日 南あわじ市市制施行10周年記念式典(兵庫)
- 16日 第4回定例会日程協議
- 17日 議会広報委員会
- 18日 山梨市議会(山梨)行政視察来庁
- 20日 議会運営委員会
四国造形教育研究大会
- 26日 優良従業員表彰式
- 29日 市のびのびげんきまつり
- 30日 第4回定例会開会
予算決算委員会
議会だより配布

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。